

特集

- ・ バレンタインデー
- ・ 封筒・書籍用紙
キャンペーン
- ・ 木になる紙

バレンタインデー



毎日寒い日が続きますが、風邪など召されていないでしょうか。「冬来たりなば春遠からじ」と申します。もうすぐやってくる春を待ちつつ、今日も一日頑張りましょう。

2月といえば、14日のバレンタインデーを想起する人も多いのではないのでしょうか。今回はその話です。

もともと「バレンタインデー(St.Valentine's Day)」はその名の通り、キリスト教の司祭・聖ヴァレンティヌスに由来する祝日とされています。そしてその起源は、古代ローマ帝国にまで遡ります。

ローマ帝国皇帝クラウディウス2世は、士気が下がるという理由で兵士たちの結婚を禁じました。ヴァレンティヌスはそれに逆らい、こっそり兵士たちを結婚させていたので、そのかどで2月14日に処刑されました。殉教したヴァレンティヌスを讃えその日を祝日とした、というのが一般的に云われる始まりです。

しかし上記の話は主に西方教会に伝わる話であり、例えば他のある宗派では、ヴァレンティヌスという人物について二人分の伝承がありますが、そのどちらも7,8月に該当し、この日は関係ありません。

そしてカトリックでは、ヴァレンティヌスの存在自体が疑問視されており、よって記念日もありません。

それでも実際に世界中でバレンタインデーの風習は根付きました。欧米では家族や親しい友人・恋人に贈り物やカードを渡し、親愛の情を表すのが一般的です。贈る品もお菓子に限らず、性別も男性 女性と、どちらもありえます。(因みにホワイトデーの風習はありません)

対して日本ではご存知の通り、女性男性のほぼ一方通行で、贈り物も大体はチョコレートに限られ、義理を除けば好きな相手に贈るのが「日本型バレンタインデー」として一般的、とされています。チョコレートを贈るのは19世紀半ばのイギリスが発祥といわれていますが、日本では1960年に森永製菓が「愛する人にチョコレートを贈りましょう」と新聞広告を出し、1965年には伊勢丹がバレンタインフェアを開催し、段々と定着していったようです。

クリスマスもそうですが、日本では相対的に信者数の少ないキリスト教のお祭りが、見事に定着したのは日本人の宗教的寛容さによるものでしょう。本来の意味は大きく失われましたが、年中行事としてはお馴染みになりました。それが日本人にとって(特に男性に)良かったか悪かったかは別にして・・・。



スギウラ株式会社
営業部 営業一課
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業一課
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

封筒・書籍用紙キャンペーン

封筒・書籍用紙キャンペーン、スタートしました！

毎年恒例となりました春のキャンペーン、今回は既報の通り封筒と書籍用紙（含クリーム上質紙）です。

いずれの品に関しましても、弊社は全力でお応えいたします。既製品・別製品、何でもご相談ください。

キャンペーン期間は平成 22 年 2 月 1 日～4 月 30 日です。この機会をお見逃しにならないよう、どうぞよろしくお願いいたします。

まずは弊社営業までお声がけください。

木になる紙

新商品のご紹介、今回は「木になる紙」です。この商品は間伐材の需要拡大、林業・木材産業の活性化、さらには地球環境温暖化防止への貢献を図ることを目的として開発されたものです。

平成 18 年に九州地方 8 県で製紙会社・代理店・文具メーカー・封筒メーカー等が参画した「国民が支える森林づくり運動」推進協議会が立ち上げられ、間伐材を利用した紙製品の商品化と供給などが行われ、その動きのなかで出来た紙です。

この商品のポイントは、間伐材丸太 1 m³あたり 1,000 円を森林所有者に還元するところで、例えばコピー用紙（A/4）1 箱で 50 円が還元されます。このお金でまた間伐を促進してもらうわけです。

さらに A/4 のコピー用紙 1 箱あたり 1kg のカーボンオフセットが付いており、つまり上記商品を 1 箱買う毎に CO₂ 排出権 1kg が付きます。

昨年 2 月にグリーン購入法が改正され、間伐材も対象品目になりました。そしてさらに農林水産省の方針で「農林水産省木材利用推進計画」が 12 月に発表され、間伐材製品の 100% 導入目標が決定いたしました。

既に林野庁関連部署等へ多く納入されており、今後はそれ以外の部署での使用が進む見込みです。

グリーン購入法の制定以後、消費者の意識としても、いわゆる環境対応商品を望む声、選ぶ動きが強くなってきたように思われます。そんな社会情勢の中で誕生したこの「木になる紙」。要注目の商品であることは疑いありません。

使用することで山林の保護育成に繋がるこの商品です。

尚、新たにコピー用紙のほかにも紙ファイルなど各種新製品が発売されました。まずは弊社営業へお問い合わせ下さい。

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-arai-yoshio
@kamisugiura.co.jp



